

大塚敬節
責任編集
矢数道明

世
近
漢方醫學書集成

90

喜多村直寬 三

名著出版
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

世漢方医学書集成 90 喜多村直寛(三)

第Ⅲ期
全40巻

昭和五十七年一月二十五日 発行

編者

大塚敬節
矢数道明

発行者

中村安孝

発行者

株式会社 名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八)一五二二七〇番代
振替口座 東京七一二五四六番

製版所

株式会社 日本写真製版社

印刷所

有限会社 伊藤印刷

製本所

辻本製本所



予約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えます。

責任編集

大塚敬節

矢数道明

編集委員

山田光胤

寺師睦宗

大塚恭男

矢数圭堂

松田邦夫

凡 例

一、本書第九十卷「喜多村直寛(三)」には、『金匱要略疏義』卷一―卷二まで収録した。

一、本書は全て影印版によって収録したが、影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮少し、一頁に半丁ずつ収めた。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

ニ、底本にある蔵書印及び書き込みは省略した。

ホ、印刷不明な箇所は、他の版本等により補正したところもある。

一、底本は次の通りである。

金匱要略疏義 版本（文化元年版）六卷六冊（大塚敬節所蔵）

一、本書収録書目の解題については、第八十八卷「喜多村直寛(一)」に記した。

喜多村 直寛

(三)

目次

凡例	三
金匱要略疏義	
序	五
凡例	一三
引拠諸家箋釈姓氏	一五
統編	一九
卷一	二七
臟腑經絡先後病脈證第一	二七
瘧濕喝病脈證第二	七五
百合狐惑陰陽毒病證并治第三	一三五
瘧病脈證并治第四	一六一
中風歷節病脈證并治第五	一九一
卷二	二四一
血痺虛勞病脈證并治第六	二四三

肺痿肺癰欬上氣病脈證治第七·····	二九三
奔豚氣病脈證治第八·····	三四一
胸痺心痛短氣病脈證治第九·····	三五三
腹滿寒疝宿食病脈證治第十·····	三八一

金匱要略疏義

卷一
卷二

竹琴堂藏書

第金匱 11 號

金匱要略疏義

一

文久紀元新刷

金匱要略疏義

學訓堂聚珍版

金匱玉函要略疏義序

枋憲喜多邨先生以穎絕之才敏博之學夙擢醫學教諭無幾人列侍醫學者仰稱一代泰斗以其行藏爲我道之污隆先生亦繼開自任其於醫經經方料理勘定不遺餘力先時嘗著傷寒論疏義繼有金匱疏義之舉惟金匱是雜病論之遺在學者最不可不精究奈蟬蠹餘簡經宋人改刪既非仲景之舊加之魯魚謬譌不一而足注家概隨文強解徒增端緒若施諸治術之際則茫乎無準焉及得先生此書辨訂諸家鈎稽奧旨源流盪滌本末悉見學者始有所措

手焉頃門人相商上之木而徵序於惟常惟常受先生之鞭策三十餘年於茲嘗希附驥於萬一而資性駑下有退無進每歎方今醫道陵夷邪說橫行其勢如洪水猛獸不可阻遏而先生乃一病謝事遊邀于力外踪跡漠然如隔世之人是殆孔夫子欲莫言之意乎將瞿曇氏一字不說之旨乎惟常未能測其涯際然推之先生昔日之志竊不能無疑若然則是書於先生亦爲旣陳之芻狗自視不屑者何敢示人爲或曰先生昔日之有書是今日之所以無言卽就書求言言不在茲乎且也先生又有素問注若干卷精

詰獨絕啓發軒岐秘鑰卽吾黨之論語涅槃行將刊
布以廣其言於世子將何憾焉惟常曰唯然乃據前
言以弁簡端云

文久紀元歲次辛酉秋九月上浣信陽淺田惟常識

金匱玉函要略方論疏義序

雲來程氏曰讀仲景金匱必融會仲景傷寒澄心年月便領悟其旨趣否則得此失彼未許窺其要妙也余讀傷寒論卅年于今竊嘗編疏義一書頃間又注金匱要略因謂醫道與儒道通醫之素難則儒之六經醫之仲景則儒之四子也六經不研訓詁無由以得其解四子不究義理廼不能求其旨然義理之與訓詁非敢分鑣異途者唯各有所主而遂不以此易彼也而世之攻漢學者斥義理爲支離學宋儒者訾訓詁爲芻狗胥均失之此余平日之持論也故愚於